

ツルガ薬局 漢方症例 《 63歳 女性 左肩から腕にかけての痛み 》

■ 2013年1月21日

「3日前から突然、左手から左手首にかけてだるくなり、左腕、左肩と段々上の方に上ってきて、痛み出した。昨日は、左の肩甲骨や脇まで痛みが広がり、夜なかなか寝られないほど。整形の医院に受診し、痛み止めが出され服用するも効果なし。だんだん広がってきて、痛みも増してきているので不安。」

本日の午前中に病院へ行き注射を打ってもらい、今は少し楽になっているとのこと。

問診すると

- ・ 夜になると特に痛みがひどくなり、寝ていても目が覚めてしまうほど。
- ・ 体型は、少し細身
- ・ 元々冷え症だが、今特にひどいわけではない
- ・ 頸椎は痛めている
(→MRIの結果、ここから来ている可能性があると言われた)
- ・ 大変繊細な性格に感じた
- ・ むくみ なし
- ・ めまい なし
- ・ 耳鳴り なし
- ・ のぼせ なし
- ・ 汗 なし
- ・ 口渇 なし
- ・ 普段は何気ない時に咳がよく出る
- ・ 小便 朝2時間おき 昼からは3~4時間おき
- ・ 大便是1日1回必ず出る、1日2回出ることも珍しくない、ほとんど良い形の便、たまにゆるくなるが気にならないほど、緊張して便に行きたくなることもある
- ・ 食欲は普通 痛くなる前は食べ過ぎなぐらい食べていた、痛みが出てからは食べないように気をつけている
- ・ しびれはない、痛みのみ
→ちょうど「太陰肺経(たいいんはいけい)」や「太陽小腸経」の経絡の場所
- ・ 何年か前に右肩が五十肩になっているが、ここまでの痛みではなかった

【考察】

この方は細身で繊細であり、お話しした感じからも体の血液の力や巡らす力が弱いと感じた。そして症状が出だした時期が、ちょうど「土用(どよう)」の時期に入ってからであることから、この元々の体の弱りに、暴飲暴食が重なり、脾胃が傷られ(胃

腸が弱り)、それに伴い体表と体内の気と血の行りが悪くなって、筋肉に痛みが出ていると考え、桂姜棗草黄辛附湯を7日分処方。

【経過・結果】

■ 翌日の1月22日に来店

1月21日に店頭ですぐ漢方薬を飲み、夜ももう1回飲んだところ、夜痛みで目が覚めることなかった。顔色も良かった。

■ 1月27日

全く痛みなし。漢方薬の服用終了。

■ 2月2日

処方箋でご来店。もう痛みはないが、病院にリハビリ(電気)や注射で通ったり、痛み止め薬は処方してもらい服用しているとのこと。

左の痛みは無くなったが、今度は右側に少し違和感があるようになった。ただ、痛みはないので少し様子を見てみるとのこと。

漢方の専門相談は、ツルガ薬局の漢方専門相談スタッフまでお気軽にどうぞ♪